

心理学域報告 (2016.4.1~2016.9.30)

I 人事異動

2016年4月1日	千島 雄太	特任助教	就任 [筑波大学大学院人間総合科学研究科]
2016年5月31日	中岡 千幸	助教	転出 [東北大学]
2016年9月1日	田中 崇恵	助教	就任 [東京大学]
2016年9月30日	関口 雄一	特任助教	転出 [山形大学]

II 学域構成員 (2016年9月30日現在)

		研究領域				
		実 験	教育・認知	産業・社会	発 達	臨床・相談
教 授	綾部 早穂 一谷 幸男 小川 園子 Constantine Pavlides	原田 悦子 茂呂 雄二	相川 充 岡田 昌毅 松井 豊	安藤 智子 大川 一郎 櫻井 茂男 佐藤 有耕 濱口 佳和	沢宮 容子 杉江 征 藤生 英行	
准教授	加藤 克紀 山田 一夫	宇佐美 慧 外山 美樹	藤 桂 湯川進太郎		青木佐奈枝 飯田 順子 大塚 泰正	
講 師					望月 聡	
助 教	高橋 阿貴				坂本 憲治 田附あえか 田中 崇恵	
特任助教	梶田麻菜美			関口 雄一 千島 雄太 藤原 健志		

Ⅲ 心理学域教員指導論文題目一覧

1. 2015年度 博士論文

(1) 課程博士

氏名	論文題目	指導教員
心理学専攻		
太田 礼穂	絵本共同読み活動における自己への誤帰属と相互作用	茂呂 雄二
古村健太郎	恋愛関係へのコミットメントが精神的健康に与える影響	松井 豊
新原 将義	校外専門家によるワークショップ型授業実践の学習環境デザイン —協働の支援及びプログラムデザインの観点から—	茂呂 雄二
高田 琢弘	ギャンブルの基礎的行動メカニズムとその影響要因に関する実験的研究	湯川進太郎
千島 雄太	青年期における自己変容に対する志向性の個人差と発達の变化	佐藤 有耕
ヒューマン・ケア科学専攻		
白倉 瞳	小・中学生の対象別評価懸念に関する研究	濱口 佳和
軽部 雄輝	大学生の就職活動維持過程の検討—不採用経験の克服に着目して—	杉江 征
関口 雄一	小学生における関係性攻撃の認識についての研究	濱口 佳和
生涯発達科学専攻		
勝野 美江	「米作りの体験活動」により得られる学びと学びを育む要因について	藤生 英行
鈴木 俊介	発達障害児の母親ときょうだいが経験する心理的困難に関する研究	安藤 智子
高橋 哲	矯正施設における実証的根拠に基づく査定と処遇の在り方に関する研究 —再犯リスクと自傷行為に着目して—	藤生 英行
藤井 茂子	小学生の母子保健室登校を通じた母子関係の変容と 援助プロセスモデルの生成	石隈 利紀
藤江 玲子	高校生のドロップアウトの予防に関する研究	藤生 英行

(2) 論文博士

氏名	論文題目	指導教員
心理学専攻		
伊藤 崇	集団教育における一対多的参加構造の組織化過程	茂呂 雄二

2. 2015年度 修士論文

(1) 人間総合科学研究科

氏名	論文題目	指導教員
心理専攻 心理基礎コース		
井ノ川侑果	自伝的記憶の想起に伴う感情の変容に及ぼす 特性マインドフルネスの影響	湯川進太郎
川嶋 賢治	東日本大震災が神経発達障害児・者を支える人々に与えた影響 —施設職員のメンタルヘルスと養育者の養育行動を中心に—	松井 豊
倉石 和澄	ユーモアの生起メカニズムの検討 —構造的不適合の評価と遊びの状態に焦点を当てて—	外山 美樹
大門 貴之	系列的問題解決の学習—加齢変化・ガイド利用の検討—	原田 悦子
吉野 優香	受益後の感謝感情と負債感情が向社会的行動に及ぼす影響の検討	相川 充
宋 佳	腐女子のBL作品嗜好の規定因とその心理的影響	松井 豊
哈 布 日	日本人大学生及び在日留学生の地震防災行動の規定因に関する研究	松井 豊
松崎 照輝	順序判断課題による高齢者認知機能の個人差 —認知課題と機器使用場面の共通点と差異—	原田 悦子
心理専攻 心理臨床コース		
今村由未香	ポジティブ心理学的介入とパーソナリティフィット —介入の効果を高める要因の検討—	沢宮 容子
植井 春帆	日常のしあわせ体験について—体験モデルの作成と個人差の検討—	杉江 征
黒澤 和代	女性の不妊治療と仕事の自己調整プロセス	濱口 佳和
塩澤 彩香	子どもが母親の精神疾患を受容する心理プロセスの検討	濱口 佳和
野澤 英子	解離にみられる没入体験の諸特性と心理的影響 —一般群と臨床群における検討—	青木佐奈枝
堀川 朋子	回避が生起するプロセスの検討—認知と感情の関連に着目して—	青木佐奈枝
村上佳菜子	交際相手からのモラル・ハラスメント被害に関する研究	濱口 佳和
吉原 大樹	青年の失敗に対する認知と対処の検討—自己愛傾向に着目して—	青木佐奈枝
政所 友里	友人に対する援助要請抵抗感とその抑制要因の検討	青木佐奈枝
感性認知脳科学専攻		
石川 寛子	ラットにおける新生仔期母仔分離時のニオイが 成体期の情動行動に及ぼす影響	山田 一夫
上野 将玄	ラットのストレスレジリエンスの個体差に関する行動学的研究 —恐怖条件づけと条件性場所選好を指標とした検討—	山田 一夫
生涯発達専攻 カウンセリングコース		
田中 小巻	チャレンジスクールにおける集団社会的スキル教育の実践 —不登校が多く在籍する単位制高校での取り組み—	飯田 順子
田代 佳克	高校教員の感情労働についての研究	藤生 英行
羽布津 碧	非顕性要支援者シンボルマークへの理解・関心の促進要因に関する検討	藤 桂

川崎 知己	教員の管理職志向への影響要因 —ロールモデルとマネジメント経験に焦点をあてて—	飯田 順子
飯島 詩織	自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害児の母親の自助資源・ 援助資源が受診前・診断時の感情体験に及ぼす影響	飯田 順子
石川 玲子 上野 智江	家族介護者に対するヘルパーの果たす役割についての検討 幼児期における養育行動が子どもの自己制御機能及び 育児感情に与える影響	大川 一郎 安藤 智子
岸本 直美	保育所におけるコンパニオンシップとしての雑談 —内容と効果の検討を通して—	藤 桂
小柳 徹己	英語科教員の授業実践における ICT 導入の促進と抑制に関する研究 —教員としての信念と自己効力感が与える影響に着目して—	藤 桂
橋 直美 田中小百合	即興音楽における感情表出による感情労働者のバーンアウト低減の試み 中高年男性が若年無業者支援を行う動機 —NPO 法人における支援活動に焦点をあてて—	飯田 順子 大川 一郎
田中美千子 檀野 竹美	安心感の基地としての保健室と養護教諭の役割 ワーク・ファミリー・エンリッチメントが夫婦の愛情・満足感に 及ぼす影響—共働き夫婦のペアデータを基に—	安藤 智子 岡田 昌毅
仲澤 祐子 中丸 世紀	セクシュアル・マイノリティの就労における困難 組織的公正性の欠如が外資系企業従業員のストレス反応に及ぼす影響 —組織の機能を低下させる従業員の行動を媒介変数として—	安藤 智子 大塚 泰正
沼尾 綾子 蛭川 康子	異動で生じる出来事による困難が精神的健康に及ぼす影響 薬剤師における職業性ストレス緩衝効果の検討 —病院薬剤師と保険薬剤師のコーピングに着目して—	岡田 昌毅 大塚 泰正
福島 唯実 松本裕紀子	男子中学生の男らしさとコーピングの選択に関する研究 航空管制官のフルレーティングまでのプロセス —訓練生が獲得する技術的スキルとコミュニケーションスキルに ついての M-GTA による分析—	藤生 英行 大塚 泰正
南 裕子 峯岸 佳代 三好きよみ 山田 浩二	若年転職経験者の心理的 well-being に及ぼす影響要因 作業療法士とクライアントとの関係性に関する研究 IT 系プロジェクトマネージャの熟達プロセスの探索的検討 多重役割がプロティアン・キャリアとポジティブ志向に及ぼす影響 —育児をしながら企業で働く女性に焦点を当てて—	岡田 昌毅 藤生 英行 岡田 昌毅 岡田 昌毅
山脇三千代 和田 桂子	中年期における受容困難な経験の意味づけと時間的展望 思春期の失敗や挫折経験からの立ち直り過程とレジリエンス	松井 豊 松井 豊

(2) 教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻

氏名	論文題目	指導教員
芳之内貴将	対人的感謝が保育者効力感に及ぼす影響の検討	櫻井 茂男

3. 2015年度 人間学群心理学類 卒業論文

氏名	論文題目	指導教員
加藤 実裕 寺下 魁 青木真奈美	感謝感情が友人関係の維持に与える影響の検討 表面的同調と本来感、およびその他の特性要因との関連について 大学生が自己開示に用いる方法と内容の検討—対面・SNS に着目して—	相川 充 相川 充 青木佐奈枝

大徳さな子	Binge-Eating と身体感覚との関連	青木佐奈枝
佐藤 賢吾	円柱の視覚特徴が持ち上げ時の拇指の圧力と重さ知覚に及ぼす影響	綾部 早穂
加瀬 裕己	オブジェクト認知に及ぼす観察窓の影響—移動窓と固定窓の比較—	綾部 早穂
片岡 裕	同性愛アイデンティティの発達と関連要因	安藤 智子
林 康平	大学生の援助要請のスタイルとスキルがストレス反応に及ぼす影響	安藤 智子
Muhamad Aiman	Effects of chronic postnatal NMDA receptor blockade on latent inhibition in preadolescent rats	一谷 幸男
坂口 沙織	化粧品購買時の情報探索に影響を及ぼす要因に関する検討	岡田 昌毅
荒井 翔子	Role of protein kinase A in sleep for fear memory consolidation	小川 園子
宮田 優花	雌マウスの養育行動制御に果たす 内側視索前野エストロゲン受容体の役割	小川 園子
根本茉莉奈	マウスの移動活動における空間の見通しの良さと明るさの影響	加藤 克紀
溝口 紗貴	児童期の対人関係の類型に基づく適応についての検討 —全般的適応と学校適応の観点から—	櫻井 茂男
水島由里香	大学生のワークライフバランスと大学生活への適応	佐藤 有耕
森本明日香	青年期における不合理な信念の特徴および適応との関連	佐藤 有耕
牧山 智樹	ノスタルジアが精神的健康に及ぼす影響過程の検討 —本来感と自己価値の随伴性に着目して—	沢宮 容子
宮本紗也加	認知の歪み、感情体験、感情的 well-being の関連	沢宮 容子
若木 祥太	プロアクティブ・コーピングと性格特性、精神的幸福度との関連	沢宮 容子
清水 昇	自己治癒力観と健康行動の関連	杉江 征
永野 廣美	随伴性自尊感情と本来感が摂食障害傾向に与える影響	杉江 征
河村 綾花	正・負のプロセスフィードバックが内発的動機づけに与える影響 —制御焦点と特性的自己効力感を調整変数として—	外山 美樹
笹森 光馬	大学生サークル集団におけるコミットメントが 寄与行動に与える影響の検討	外山 美樹
茅根 有美	ストレスイベントについての自己開示が精神的健康に与える影響 —対人場面と SNS 場面を比較して—	外山 美樹
中嶋 亜美	制御焦点の違いが上方比較後の感情・行動・パフォーマンスに 及ぼす影響—同化と対比に着目して—	外山 美樹
成田 蘭	性格に関するフィードバックの形式による自己への影響の違い —理想自己・自己認知に着目して—	外山 美樹
長谷川緑子	友人関係解消経験が大学生の友人関係・抑うつに及ぼす影響	濱口 佳和
畠中 瑛梨	現代日本における中年期女性の人格的発達形成要因の検討	濱口 佳和
廣瀬愛希子	内的作業モデルと被援助場面における社会的情報処理との関連	濱口 佳和
堀川 瑞紀	過去のいじめ被害が現在の自己成長感をもたらすプロセスの検討	濱口 佳和
池永 将和	異なる目標をもつ二者による共同問題解決—会話プロセスの検討—	原田 悦子
鈴木 航輔	時間的制約と経験的・意味の手がかりが探索行動に及ぼす影響 —若年者・高齢者間比較—	原田 悦子
橋本 英奈	わかりやすい方向サインデザインの検討—年齢群間比較—	原田 悦子
出利葉有紗	サイコパシー特性における恋愛行動の特徴と調整要因の検討 —友人・恋人によるサポートのネガティブな側面—	藤 桂
城間 益里	失恋時の思考・認知がストーキングに与える影響	松井 豊
仲井 健人	聴覚障害者の聴者に対する意識の検討	松井 豊
小林 篤史	予測によるネガティブ感情の喚起の制御	望月 聡
則近 千尋	情動強度・感情制御が共感的反応に及ぼす影響	望月 聡
長谷部真理	大学生の時間管理能力—適応感と抑うつとの関連—	望月 聡
福重 佑香	初対面における“同じニオイ”とは何か—対人関係における直感—	望月 聡

大里友佳子
濱田健太郎

新生仔期母子分離が母親ラットの養育行動に及ぼす影響
マインドフルネスと誠実性との関連性についての検討

山田 一夫
湯川進太郎

IV 2015年度各種表彰など

氏名	受賞名	受賞対象論文・発表題目名（掲載誌）、または受賞理由
心理学域		
○原田 悦子	2015年度 Best Faculty Member (筑波大学, 2016年3月)	筑波大学の大学教員業績評価により、極めて優れた活動を行った教員として、学長表彰を受けた。
○大塚 泰正	日本産業衛生学会 産業衛生学雑誌 優秀論文賞 (日本産業衛生学会, 2015年5月)	堀田裕司・大塚泰正 (2015). 職場における対人的援助向上プログラムの効果評価, 57, 219-229.
○藤 桂	日本教育心理学会2014年度優秀論文賞 (日本教育心理学会, 2015年8月)	藤 桂・吉田富二雄 (2014). ネットいじめ被害者における相談行動の抑制—脅威認知の観点から— 教育心理学研究, 62, 50-63.
○湯川進太郎	日本感情心理学会学術貢献賞 (日本感情心理学会, 2015年6月)	「感情心理学研究」に3回論文が掲載され、感情心理学の発展に特に貢献したため、表彰された。
○外山 美樹	日本スポーツ心理学会最優秀論文賞 (日本スポーツ心理学会, 2015年11月)	有富公教・外山美樹 (2015). 日本人アスリートの競技中に生じる思考の構造および発生傾向の検討 スポーツ心理学研究, 42, 1-14.
○外山 美樹	日本パーソナリティ学会第24回大会 大会発表賞 (日本パーソナリティ学会, 2015年8月)	三和秀平・外山美樹 (2015). 努力承認評価が内的動機づけに与える影響の検討—正答数と解決不可能課題遂行後の動機づけに着目して— 日本パーソナリティ学会第24回大会
○外山 美樹	平成27年度人間系優秀教員賞 (筑波大学, 2016年2月)	筑波大学の大学教員業績評価により、その業績が優れている教員として、表彰を受けた。
○望月 聡	日本パーソナリティ心理学会第23回大会 優秀大会発表賞 (日本パーソナリティ心理学会, 2015年8月)	松本 昇・望月 聡 (2014). 自伝的記憶の具体性の減少は抑うつへの悪化を予測する—非臨床群におけるCaRFAXモデルの縦断的検討—
心理学専攻		
○古村健太郎	平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻長賞 (筑波大学, 2016年3月)	恋愛関係へのコミットメントが精神的健康に与える影響, 平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻博士論文
○千鳥 雄太	平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞 (筑波大学, 2016年3月)	青年期における自己変容に対する志向性の個人差と発達の变化, 平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻博士論文
○仲嶺 真	平成27年度人間系専攻大学院生の国際学会発表に対する支援事業 (筑波大学, 2015年8月)	From encounter on social network site to encounter on real life: Why do the youth meet an opposite-sex people with whom they are acquainted on SNS?, 2nd International Conference on Education, Psychology, and Social Sciences (ICEPS) 2015

- 仲嶺 真 日本応用心理学会第82回大会優秀大会発表賞「口頭発表」部門（日本応用心理学会，9月）
- 新原 将義 平成27年度茗溪会賞（筑波大学，2015年3月）
- 小川 緑 SSTS 旅費支援 Grant（齊藤幸子味覚嗅覚研究所，2015年10月）
- 高田 琢弘 日本感情心理学会精励発表賞（日本感情心理学会，2015年6月）
- 上條菜美子 人間総合科学研究科 TF 優秀賞（筑波大学，2014年2月）
- 有富 公教 平成27年度日本スポーツ心理学会最優秀論文賞（日本スポーツ心理学会，2015年11月）
- 宮代こずゑ 国際会議等参加旅費補助金（日本心理学会，2015年7月，但し辞退）
- 宮代こずゑ 海外学会等参加支援プログラム（筑波大学，2015年9月）
- 三和 秀平 日本パーソナリティ学会第24回大会大会発表賞（日本パーソナリティ学会，2015年8月）
- 戎 夢婷 平成27年度海外留学支援事業「海外武者修行支援プログラム」（筑波大学，2015年8月-2015年9月）
- 仲嶺 真・相羽美幸（2015）. 魅力を高めるためにスキルは必要？—初対面異性ペアによる検討— 日本応用心理学会第82回大会
状況論に基づく音楽アウトリーチの実践が、本表彰に相応しいと評価されたため。
The influence of repeated exposure to an odor that belongs to the same category as the exposed odor. 日本味と匂学会第49回大会
日本感情心理学会の年次大会で、第一著者として5回研究発表を行い、感情心理学の発展に貢献したため。人間学群心理学類開設科目「臨床社会心理学」での講義内容が優秀であったと評価された。
有富公教・外山美樹（2015）. 日本人アスリートの競技中に生じる思考の構造および発生傾向の検討 スポーツ心理学研究, 42, 1-14.
Harmonization effects between a word's meaning and typography: An investigation using visual world paradigm. 37th Annual Conference of the Cognitive Science Society.
Harmonization effects between a word's meaning and typography: An investigation using visual world paradigm. 37th Annual Conference of the Cognitive Science Society.
三和秀平・外山美樹（2015）. 努力承認評価が内発的動機づけに与える影響の検討—正答数と解決不可能課題遂行後の動機づけに着目して— 日本パーソナリティ学会第24回大会
平成27年8月～9月まで、コーンゲーン大学に渡航し、旅費支援として290,000円を受領した。

ヒューマン・ケア科学専攻

- 白倉 瞳 平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻長賞（筑波大学，2016年3月）
- 輕部 雄輝 平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻長賞（筑波大学，2016年3月）
- 佐々木恵理 平成27年度学術研究振興資金若手研究者奨励金（日本私立学校振興・共済事業団，2015年4月-2016年3月）
- 小・中学生の対象別評価懸念に関する研究，平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻博士論文
大学生の就職活動維持過程の検討—不採用経験の克服に着目して—，平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻博士論文
「教員養成課程におけるレジリエンスの向上を図る心理教育教材の開発」が採択され，研究助成金30万円を受領した。

- 佐々木恵理 平成27年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)連携型共同研究
(文部科学省科学技術人材育成費補助事業, 2015年9月-2016年3月) 佐々木恵理・山本眞由美・西尾彰泰・堀田 亮・磯村有希「女子大学生の首尾一貫感覚(SOC)の特徴—女性の活躍を促進する心理的要因の検討—」が採択され、研究助成金98万3千円を受領した。
- 菅原 大地 国際会議等参加旅費補助金
(日本心理学会, 2015年6月) Effect of positive emotion on learned helplessness. Fourth World Congress on Positive Psychology.
- 関口 雄一 平成27年度茗溪会賞
(筑波大学, 2016年3月) いじめ問題専門委員としての地域社会貢献活動が認められ、本表彰に相応しいとの評価を受けた。
- 松本 昇 日本パーソナリティ心理学会第23回大会優秀大会発表賞
(日本パーソナリティ心理学会, 2015年8月) 松本 昇・望月 聡(2014). 自伝的記憶の具体性の減少は抑うつが悪化を予測する—非臨床群におけるCaRFAXモデルの縦断的検討—

生涯発達科学専攻

- 勝野 美江 平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻長賞
(筑波大学, 2016年3月) 「米作りの体験活動」により得られる学びと学びを育む要因について、平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻博士論文

心理専攻

- 川嶋 賢治 平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞
(筑波大学, 2016年3月) 東日本大震災が神経発達障害児・者を支える人々に与えた影響—施設職員のメンタルヘルスと養育者の養育行動を中心に—、平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文
- 川嶋 賢治 平成27年度茗溪会賞
(筑波大学, 2016年3月) 修士論文の研究の一環として、被災地東北で児童を対象としたボランティア活動に参加したことが認められ、本表彰に相応しいとの評価を受けた。
- 川嶋 賢治 グローバル・コモنزによる平成27年度海外留学支援事業
(筑波大学, 2015年10月) Post traumatic growth of staff working at the time of the 2011 great east Japan earthquake in facilities for persons with intellectual disabilities. International Conference on Education, Psychology, and Social Science 2015.
- 宋 佳 グローバル・コモنزによる平成27年度海外留学支援事業
(筑波大学, 2015年11月) The ideal fiction world of Japanese Boys Love fans. The Society for the Scientific Study of Sexuality 2015 Annual Meeting.
- 哈 布 日 平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻長賞
(筑波大学, 2016年3月) 日本人大学生及び在日留学生の地震防災行動の規定因に関する研究、平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文
- 山岡 明奈 国際会議等参加旅費補助金
(日本心理学会, 2015年7月、但し海外の治安悪化のため、学会参加をキャンセルし、全額返金) Mind-wandering during incubation improves creative problem-solving. 4th World Conference on Psychology and Sociology.
- 山岡 明奈 平成27年度人間系専攻大学院生の国際会議等発表に対する支援事業
(筑波大学, 2015年8月) The relation ship between mind-wandering or mindfulness and creativity. International Conference on Education, Psychology, and Social Sciences 2015.

- 長谷川莉子 平成27年度人間系専攻大学院生の国際会議等発表に対する支援事業（筑波大学、2015年9月） Effects of embodiments and voice on human-agent interaction. 37th Annual Conference of the Cognitive Science Society.
- 高橋あすみ 第111回日本精神神経学会学術総会優秀発表賞ポスター部門（日本精神神経学会、2015年6月） 太刀川弘和・相羽美幸・高橋あすみ・高橋 晶・新井哲明・朝田 隆（2015）. 東日本大震災後3年間の被災3県の自殺率：月別推移の時系列分析 第111回日本精神神経学会学術総会
- 塩澤 彩香 平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻長賞（筑波大学、2016年3月） 子どもが母親の精神疾患を受容する心理プロセスの検討。平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文
- 塩澤 彩香 平成27年度発達科学研究教育奨励賞（公益財団法人 発達科学研究センター、2015年10月-2016年11月） 「子どもが親の精神疾患を受け止める心理プロセスに関する研究」が採択され、研究助成金160,000円を受領した。

生涯発達専攻 カウンセリングコース

- 田中美千子 平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞（筑波大学、2016年3月） 安心感の基地としての保健室と養護教諭の役割。平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心生涯発達専攻修士論文
- 三好きよみ 平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻長賞（筑波大学、2016年3月） IT系プロジェクトマネージャの熟達プロセスの探索的検討。平成27年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心生涯発達専攻修士論文
- 岸本 直美 平成27年度茗溪会賞（筑波大学、2016年3月） 修士論文の研究において、地域保育行政および地域力推進事業全般に貢献したことが認められ、本表彰に相応しいとの評価を受けた。

心理学類

- 荒井 翔子 平成27年度筑波大学人間学群長賞（筑波大学、2016年3月） 修学、卒業研究、課外活動において優秀な成績を取めた学生として表彰を受けた。
- 河村 綾花 平成27年度筑波大学人間学群長賞（筑波大学、2016年3月） 修学、卒業研究、課外活動において優秀な成績を取めた学生として表彰を受けた。
- 福地 鞠子 海外留学奨学金（日本学生支援機構、2015年2月-2015年7月） 平成27年2月～平成27年7月まで、マレーシア科学大学に留学し、旅費・生活費を受領した。
- 岡 元紀 スーパーグローバル大学創生支（トップ型）プログラム（筑波大学、2015年2月-2015年6月） 平成27年2月～平成27年6月まで、マレーシア大学に留学し、旅費・生活費を受領した。
- 大徳さな子 平成27年度海外留学支援事業「海外武者修行支援プログラム」（筑波大学、2015年8月-2015年9月） 平成27年8月～9月まで、オーストラリア国立大学・モナシュ大学に渡航し、旅費支援として301,190円を受領した。
- 西森 千咲 平成27年度海外留学支援事業「海外武者修行支援プログラム」（筑波大学、2015年8月-2015年9月） 平成27年8月～9月まで、オーストラリア国立大学・モナシュ大学に渡航し、旅費支援として301,190円を受領した。